



<http://suzuka21.com/>

環境整備部会資料

140801

鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 環境整備部会

目 次

1	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所	1
2	近畿日本鉄道	7
3	伊勢鉄道	8
4	三重交通	10
5	中日本高速道路	11
6	鈴鹿サーキット	13
7	鈴鹿市中央消防署	15
8	鈴鹿市	17

鈴鹿F1G 2014の取り組み

三重河川国道事務所

0

1. 国土交通省の2014の取り組み概要(1)

①白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定

◆専用ルート区間が平成26年3月に開通



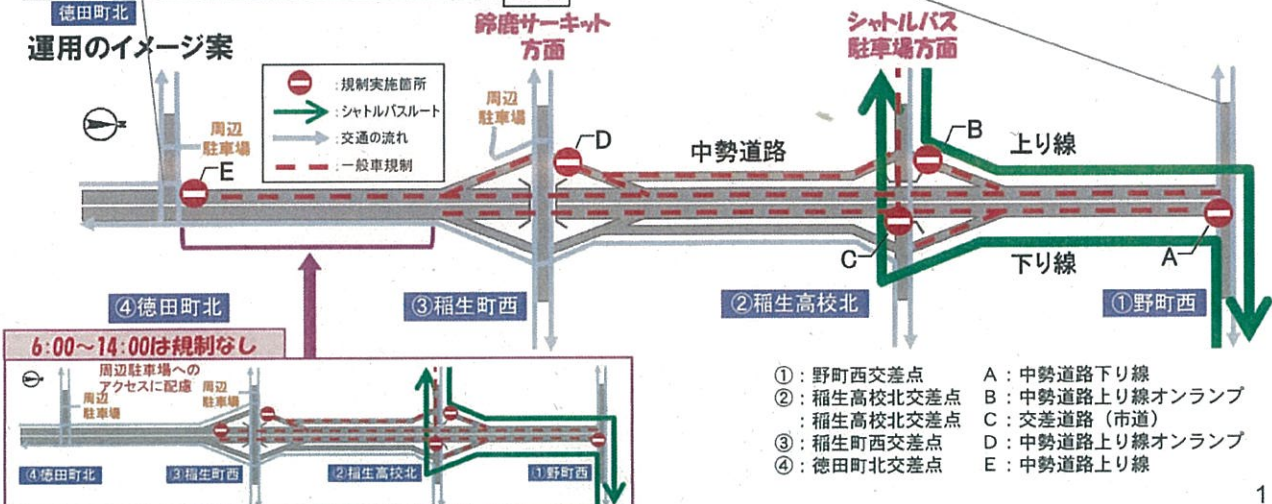
【日時】

平成26年10月4日(土): 予選日6:00~20:00

5日(日): 決勝日6:00~21:00

※フリー走行が行われる平成26年10月3日(金)は通行規制は実施しない
 なお、観戦者が鈴鹿サーキットに来訪する時間帯「6:00~14:00」は、
 周辺の駐車場への入庫に配慮し、徳田町北交差点~稲生町西交差点
 間の規制を実施しない

運用のイメージ案



1

1. 国土交通省の2014の取り組み概要(2)

②高速・国道 情報板・路側ラジオ

- ◆高速道路、県内直轄国道の情報板・路側ラジオで、事前に開催期間と混雑が想定されることを案内
- ◆一般道路利用者に事前・当日に鈴鹿周辺が混雑することを情報提供し、F1帰宅車両と錯綜を防止

国道1号情報板



③コンビニ等での推奨ルートチラシ配布

- ◆主要高速インターまでの所要時間調査結果を情報提供
- ◆チラシの情報欄に参考として掲載

帰路マップ※平成25年度版(協議会作成)



コンビニ留め置き



2

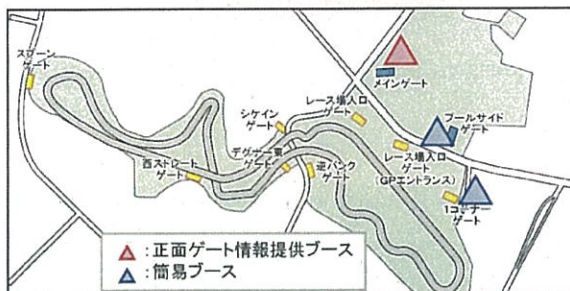
1. 国土交通省の2014の取り組み概要(3)

④会場内ブースでの帰宅時の交通情報・渋滞情報の提供

- ◆会場内ブースで掲示板もしくは簡易看板などでの情報提供(交通情報・渋滞等)
- ◆会場ゲート付近でリアルタイム交通情報などの提供



平成25年の様子



⑤ツイッターによる周辺情報の提供

- ◆携帯端末で渋滞発生時刻や箇所、鉄道、バス等の交通情報を発信
- ◆リアルタイム情報により観戦者の来場・帰宅を支援



【ツイッター】



3

1. 国土交通省の2014の取り組み概要(4)

⑥AcPro(アクプロ)スマートフォンを活用した情報提供

- ◆サポーターからの位置情報入手は、専用アプリケーションを開発し把握
- ◆走行速度情報はwebサイトにより提供



平成26年度 取組案

○ サポーター数の拡大

- 取組1: F1観戦チケット送付へのチラシ同封
- 取組2: 専用ページの構築 (AcProホームページ)
- 取組3: F1専門メディアへの掲載

◆関係機関への依頼事項

- ・AcProの利用者数の拡大に向けて、**チラシ配布やメディアへの情報提供・ホームページにおけるリンクを協力願います。**

サポーター募集チラシ

ホームページ



○ 情報提供サービス向上

- 対策4: 渋滞状況・推奨経路のわかりやすい案内等
- 対策5: 提供日時の拡大 [予選~決勝]
- 対策6: 鈴鹿周辺の観光情報の提供

その他

- 対策7: アプリ提供方法の工夫
- 対策8: iPhone対応
- 対策9: アプリの使用方法的改良

凡例
スムーズ
混雑
渋滞

色で渋滞情報を提示

鈴鹿周辺の観光情報を表示



4

2. 2014 鈴鹿F1の課題と強化すべき取組 ①

2014年の課題

- 決勝日の翌日は月曜日(通常平日)であり、過去3年の渋滞状況と異なる可能性あり
- 2009年(翌日が平日)は、2013年(翌日が休日)と比べ、市内の平均旅行速度の低下開始が早く、時間も長い

これまでの取組

(2010年~昨年までは3連休の中日が決勝)

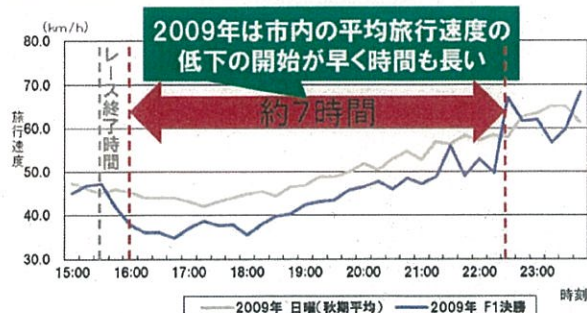
- 自動車交通量の低減を目指した公共交通への転換
- 鈴鹿ICへの集中抑制を主体にルート分散、時間分散を展開

2014年強化すべき取組(案)

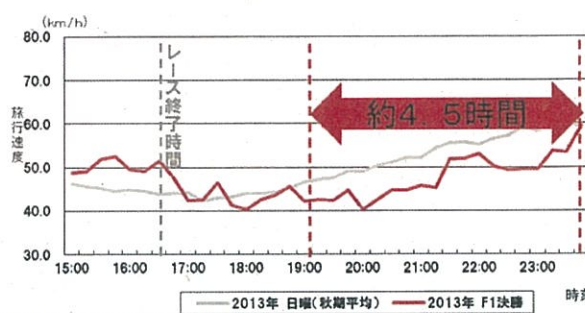
- 翌日が平日であることによる市内の主要路線の旅行速度への影響が拡大する懸念をふまえた取組を強化
- 事前の情報提供強化(協議会ホームページ)
- 公共交通利用の促進(協議会ホームページ)
- リアルタイム渋滞情報の提供強化(AcPro(アクプロ))

【市内の主要路線の平均旅行速度の低下時間の評価】

2009年: 翌日が通常平日



2013年: 翌日が休日



※終日平均: 9月10日の日曜日の平均速度(イベントがない日)

2. 2014 鈴鹿F1の課題と強化すべき取組 ②

2014年の課題

- これまでの評価は、観戦者を対象にしたものが主体
- 地域の交通円滑化として鈴鹿市民に対する生活への影響を分析できていない

これまでの取組

- 全体目標は市内全体の渋滞状況の評価（市内の渋滞時間5時間程度が数値目標）
- 個別目標は、観戦者に重点をおいた評価がメイン（公共交通利用割合、高速IC割合、観戦者満足度等）

2014年強化すべき取組（案）

- 市民を対象とした満足度評価を実施
 - 市民モニター等による期間中の交通状況に関する満足度などに関するアンケート調査の実施（鈴鹿市と調整が必要）
- なお、今後5年間継続的に評価することも有効

例) 鈴鹿市モニター

鈴鹿市政メールモニター
メルモニ 21世紀型アンケートシステム

2014/05/20 アンケート結果報告に市政247の結果掲載
2014/05/19 アンケート市政250配信！
2014/05/19 アンケート市政249終了！ありがとうございました
2014/05/15 アンケート結果報告に市政246の結果掲載
2014/05/13 アンケート結果報告に市政248の結果掲載
2014/05/12 アンケート市政249配信！
2014/04/30 アンケート結果報告に市政245の結果掲載

鈴鹿市では、より良い鈴鹿市の創造のため、市民の皆さんの意向を広くお伺いできるアンケートシステムを導入しました。
あなたもメルモニになってみませんか？

🏁 H26/10/3金・4日・5日 F1日本GPに車で来場される方へ

今年も帰りの渋滞に 巻き込まれないぞ!!

だって今年は決勝の翌日が
休日じゃないんだぞ!



仕事に備えて
渋滞は絶対に避けたいぞ!

今年はiPhone版もあるらしいぞ!

今年もやります。

皆さんの帰り道の走行状況(位置情報)をチェックできるサイト

10/3(金)~5(日)の
15時~23時公開

(アクプロ)
AcPro
2014

Android端末・
iPhone対応

皆さんの
帰宅時の動きを
Google Maps™上に
表示します!

AcProは、F1日本グランプリ開催日の帰り道
における皆さんの走行状況(位置情報)を収集し、
Google Map上に表示するシステムです。
帰宅のタイミングや経路選択の判断材料として
役立ててもらおうと考えています。

皆さんの
交通状況に関する
コメントを
公開します!

詳しくは
AcProホームページへ

[http://www.
suzuka-active.net/](http://www.suzuka-active.net/)



F1観戦後の渋滞緩和のため、

位置情報等の提供にご協力下さい。

ただいま **協力者** **大募集!**

鈴鹿サーキットへは公共交通でもお越し頂けます。来場には公共交通も是非ご利用下さい。

【提供】鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会

F1観戦後の渋滞を緩和するために！

AcPro^(アクプロ) 2014 情報提供サポーター募集！

まずはアクプロへの登録をお願いします。

下記のアドレスまたは右記のコードからアクセスし、登録フォームに必要事項を入力の上送信してください。

登録完了を担当からメールで回答致します。アプリのダウンロード方法などは、メール内でお知らせ致します。

<http://www.suzuka-active.net/bosyu/>

※登録完了のメールは「suzuka-active@nagoya.ctie.co.jp」からお送りいたします。お手数ですが、お使いの端末のメール受信の設定を確認してください。「指定ドメインのみ受信」や「携帯電話アドレスのみ受信」など迷惑メール設定を適用されている方は、上記アドレスからのメールを受信可能な状態に変更してお待ちください。



ぼくらスイスイ帰る隊！



めざせ！
300人

F1開催当日の
ご協力内容

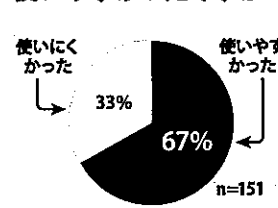
- ① 決勝日の帰りみちに事前にダウンロードしたAcProを起動し、スマホのGPS機能をオンにするだけです。後は、AcProが走行状況(位置情報)を自動で情報収集本部に送信します。
- ② サポーターの任意で、帰りみちに、渋滞状況などコメント・写真を送信していただけます。サポーター同士や、その他の観戦者がWEBページで見ることができます。
- ③ 後日、F1決勝からの帰りみちの交通状況やAcPro利用に関するアンケートに回答していただけます。

利用者の声
昨年度

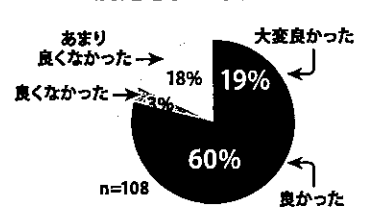


これまでは鈴鹿サーキットを19時頃に出発し、鈴鹿インターチェンジを利用していましたが、今年は18時ごろに出発して、一般道から「みえ川越インターチェンジ」まで渋滞もなく1時間半で到着することができ、AcProのお陰でこれまで帰宅途中に立ち寄る事をあきらめていた施設に立ち寄る事ができました。

AcProは
使いやすかったですか？



AcPro情報に
満足されましたか？



出典：観戦者向けアンケート調査(調査期間：H25.10.10～11.11)
およびAcProサポーター向けアンケート調査(調査期間：H25.10.18～11.18)

今年は、皆さんにもっと満足していただけるような情報の発信に努めます

募集人数

300人

昨年のご協力者は 129人
さらに多くのご協力者を募集中！

条件

- ※決勝日に鈴鹿サーキットから車で帰宅される方
- ※スマートフォンをお持ちの方
[アンドロイド(4.0以上推奨)、iPhone 5以上推奨]

※運転中のスマホの操作は大変危険です。交通ルールを守りましょう。
※応募者多数の場合は抽選となります。(当選は登録メールにてお知らせします)

サポーター全員に
F1オリジナルグッズをプレゼント！

さらに抽選でレアグッズをゲット！

コメントや写真の送信で当選確率がアップ！

- ◆AcProは走行状況(位置情報)のみ提供し、個人を特定するものではありません。
- ◆AcProの情報収集エリアは、最寄りの高速ICまでとなっております。
- ◆時間は10月3日(金)～5日(日)15:00～23:00限定です。その後は情報を収集しません。
- ◆走行状況(位置情報)の提供を停止したいときはAcProを終了するだけです。
- ◆ご希望のサポーターには充電キット(シガーソケット接続)をプレゼントします。

鈴鹿F1日本グランプリ
地域活性化協議会の
ホームページは

suzuka21 で 検索



お問い合わせ先

鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 窓口：国土交通省三重河川国道事務所調査第二課 AcPro担当
〒514-8502 三重県津市広明町297/TEL:059-229-2220/E-mail: miechou2@cbr.mlit.go.jp

鈴鹿F1日本グランプリ2014への取組み(案)

1. 臨時列車運転(案)

(1) 10月4日(土)

区間	種別	区分	臨時特急	延長特急	臨時急行	計
名古屋方面から	名古屋～白子	往路	2本	1本 (大阪上本町)	—	3本
合計			2本	1本	—	3本

※前年と同一本数

(2) 10月5日(日)

区間	種別	区分	臨時特急	延長特急	臨時急行	計
名古屋方面から	名古屋～白子	往路	3本	1本 (大阪上本町)	—	4本
	白子～名古屋	復路	1本	—	6本	7本
大阪方面から	大阪上本町～白子	往路	1本 (名古屋行)	—	—	1本
	白子～大阪上本町	復路	1本	—	—	1本
合計			6本	1本	6本	13本

※前年と同一本数

2. 白子駅での取組み

(1) 臨時乗車券発売所の設置

- ・設置場所については三重交通バスと調整

(2) 仮設トイレ

- ・協議会事務局と共同で設置。設置場所については前年と同一場所で検討

(3) 三重交通バスとの連携(白子駅到着時間調整)

- ・レース終了後の白子駅での滞留対策

(4) 帰りお客様滞留場所の検討

- ・白子駅西口ロータリー完成(予定)により検討中

以 上

2014年F1日本グランプリでの取組について

1. 臨時列車運転・鈴鹿サーキット稲生駅臨時停車(案)

(1) 10月3日(金)

		特急臨時	臨時特急	快速臨時	臨時快速	計
対名古屋・桑名 四日市方面	往路	1本	—	13本	1本※普通延長	15本
	復路	—	—		—	13本
対津・松阪・ 伊勢市方面	往路	—	—	13本	—	13本
	復路	—	—		—	13本
合 計		1本	—	26本	1本	28本

(2) 10月4日(土)

		特急臨時	臨時特急	快速臨時	臨時快速	計
対名古屋・桑名 四日市方面	往路	2本	2本	13本	5本	29本
	復路	0本	2本		5本	
対津・松阪・ 伊勢市方面	往路	—	—	13本	2本	18本
	復路	—	—		3本	
合 計		2本	4本	26本	15本	47本

(2) 10月5日(日)

		特急臨時	臨時特急	快速臨時	臨時快速	計
対名古屋・桑名 四日市方面	往路	2本	2本	13本	6本	33本
	復路	1本	2本		7本	
対津・松阪・ 伊勢市方面	往路	—	—	13本	2本	19本
	復路	—	—		4本	
合 計		3本	4本	26本	19本	52本

- ☆ JR東海の協力により、ほぼ昨年並みの輸送力(列車本数・編成)を確保。
- ☆ 決勝レース後、対名古屋方面行を17時台6本、18時台4本設定。
- ☆ 10/2(木)ピットウォークに合わせ、特急列車1本を臨時停車。

列車本数や運転時刻については、現在調整中です。

諸般の事情により、変更になる場合もございますので、ご承知おき願います。

F1日本GP期間中の列車については

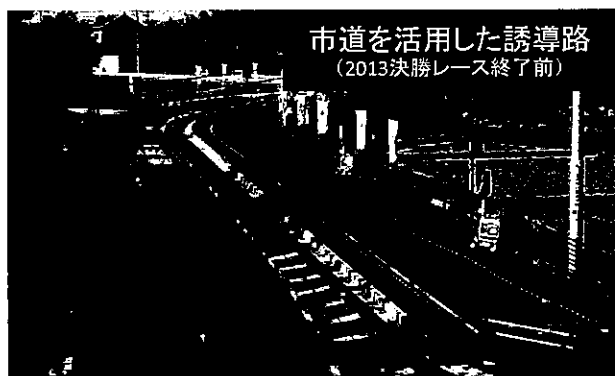
<http://www.isetetu.co.jp/f1/>
に掲載いたします。



2014年F1日本グランプリでの取組について

2. 安全輸送の確保に向けて

- * 全社員一丸となって安全の確保に努め、JR東海と協調し輸送の安全を図ります。
- * 市道稲生107号線の占有使用および仮設照明の増設、看板・プラカードを利用し、わかりやすい案内に努めます。



観戦者の安全確保のため、引き続き鈴鹿サーキット稲生駅周辺の交通規制等をお願いしたい。

3. 利用促進に向けて

- * 公共交通利用促進キャンペーンに積極的に協働。
- * 鉄道利用の利点を強調するとともに、日本で唯一サーキットの名称が付く駅「鈴鹿サーキット稲生」を活かした施策の検討。
- * お得な企画乗車券「快速みえ得ダネ4回数券」などのPR

4. 鈴鹿サーキット稲生駅の利便性向上

- * 当協議会と協同して、鈴鹿サーキット稲生駅に仮設トイレ及び仮設照明設備を設置。
- * JR東海の協力を仰ぎ、鈴鹿サーキット稲生駅に臨時乗車券発売所を設置。
- * 当協議会おもてなし部会による通訳ボランティア・インフォメーションブースの設置。
- * コーン・バー・プラカードを用いた、わかりやすい誘導路や案内板の設置。



レーシングコースをイメージした
鈴鹿サーキット稲生駅下り階段

5. 鈴鹿でのF1日本グランプリ継続開催について【お願い】

- * 2019年以降の開催も目指し、細かなインフラ整備にもご支援ご協力をお願いしたい。
- 具体的には
- ◆ 毎年仮設している発電照明設備の電灯化（無煙化）
 - ◆ 稲生107号線の歩道ブロックの改良（緑地帯予定地の歩道利用には感謝）など

今年もF1輸送を無事故で完遂できるよう努力して参ります。

2014 F 1 グランプリ開催に向けた取り組みについて

《シャトルバスの運行について（近鉄白子駅～鈴鹿サーキット間）》

■10 月 3 日（金）～5 日（日）運行

- ・運行時間帯については、レーススケジュールに合わせて今後検討。

【昨年の運行時間帯（参考）】

平成 25 年 10 月 11 日（金）6:00～18:00

平成 25 年 10 月 12 日（土）6:00～20:00

平成 25 年 10 月 13 日（日）6:00～21:00

※運行台数：決勝ピーク時で 80 両以上を確保する方向で調整。

■中勢バイパスをバス専用レーンとして走行

- ・国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所様、鈴鹿警察公安様のご協力による時間帯交通規制の実施により、「野町西交差点～稲生高校北交差点」の間をシャトルバス専用レーンとして運行予定。
- ・サーキット周辺の渋滞を回避することで、輸送時間の短縮と円滑な運行の確保が可能。

■シャトルバス乗り場について

【白子駅側】

- ・例年、土曜、日曜日には白子駅前商店街様のご協力を頂き、時間帯交通規制による乗降場所を設置。券売所の設置位置、旅客導線を含め安全で円滑な乗降に向け、関係各所様と協議、検討中。

【鈴鹿サーキット側】

- ・昨年同様、8 番駐車場をシャトルバスの乗降場所として利用させていただく予定。

■その他

- ・警備員、当社立合者を各所に配置し、安全確保に力を入れる。
- ・ベビーカー、車椅子利用者の配慮
- ・白子駅付近での観光バスの下車対策を検討

《JR 名古屋駅～鈴鹿サーキット間の直行バスの運行について》

運 行 日…10 月 3 日（金）～10 月 5 日（日）

受付開始…8 月 7 日（木）10:00～

運賃(予約制)…片道 2,600 円 往復 4,700 円

・2014鈴鹿F 1日本GP 対策案

1. 対策案

対策①…鈴鹿 I C 出口信号現示の調整

10月3日(金・フリー走行) 10月4日(土・予選) 10月5日(日・決勝) の3日間、高速出口側の「青」時間を延長予定(鈴鹿警察署と協議済)

対策②. ポスター等の配布 (F 1 対策協議会決定事項)

休憩施設にポスター、リーフレットを配布予定。

対策③. 迂回推奨・渋滞末尾警戒の標識車配置及び簡易LED標識での案内

期間中、5時～12時まで以下の箇所において標識車等による迂回推奨を実施。

(※実施時間は今後調整)

- | | | |
|-----------------------|--------|----------|
| ・東名阪道 四日市東 I C (下り線) | 出口手前 | 1台【迂回推奨】 |
| ・伊勢湾岸道 みえ川越 I C (下り線) | 出口手前 | 1台【迂回推奨】 |
| ・新名神 亀山 J C T (上り線) | 雪氷基地付近 | 1台【迂回推奨】 |

また、出口渋滞に対して渋滞末尾での後尾警戒を実施。

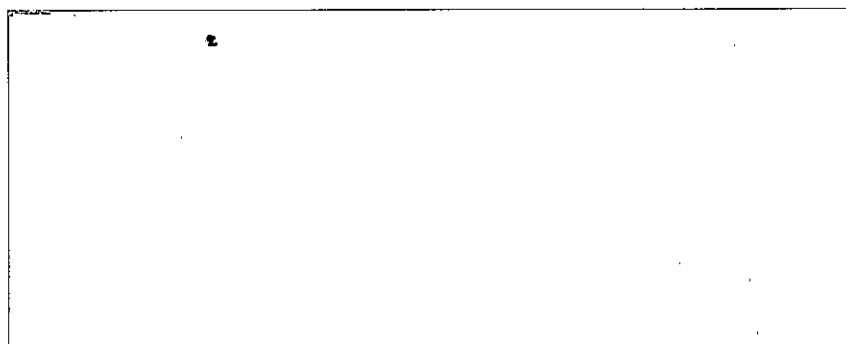
- ・東名阪道 鈴鹿 I C (上下線) 各1台 計2台【渋滞後尾警戒】

※NEXCO、協議会側もHP等で同様の誘導案内を実施。

1

・2014鈴鹿F 1日本GP 対策案

【昨年(10月12日(金))の状況】



鈴鹿 I C 本線出口分流部状況 (8:00頃)



鈴鹿 I C 出口交差点状況 (8:30頃)



みえ川越 I C 本線出口分流部状況 (10:30頃)

標識車による
迂回推奨状況



〔みえ川越 I C〕



〔四日市東 I C〕



〔亀山 J C T 付近〕

・2014鈴鹿F1日本GP 対策案



3

・2014鈴鹿F1日本GP 対策案

標識車配置予定表

F1対策・後尾警戒 設置位置	追加文字入力①	追加文字入力②
	ブリンク標示	
F1対策 新名神④ 亀山JCT(新亀山基地)手前		
F1対策 伊勢湾岸道⑤ みえ川越IC手前		
F1対策 東名阪⑥ 四日市東IC手前		



12

4

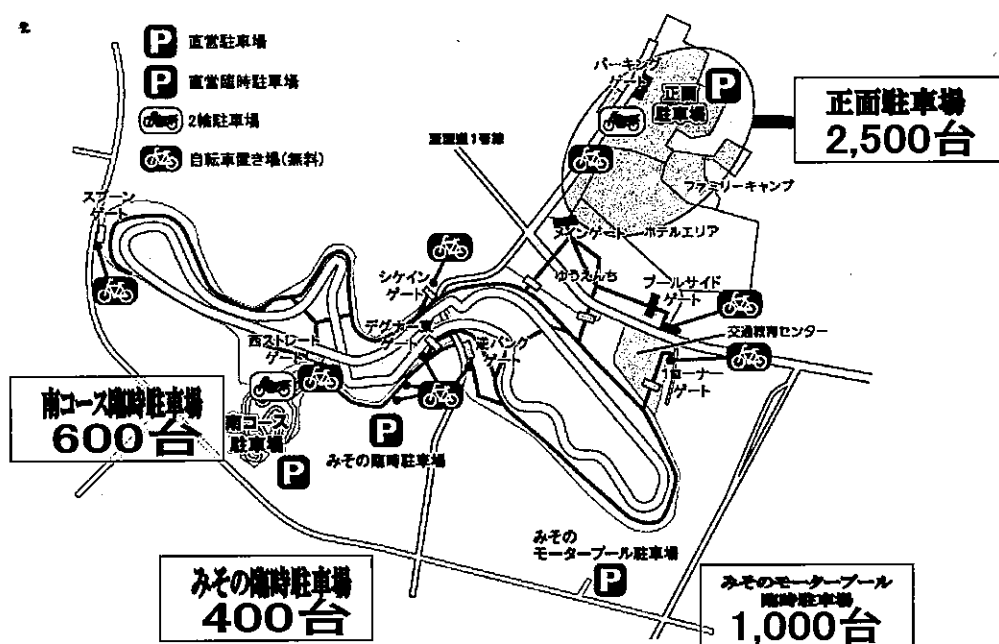


2014年 F1日本グランプリ 交通対策概要

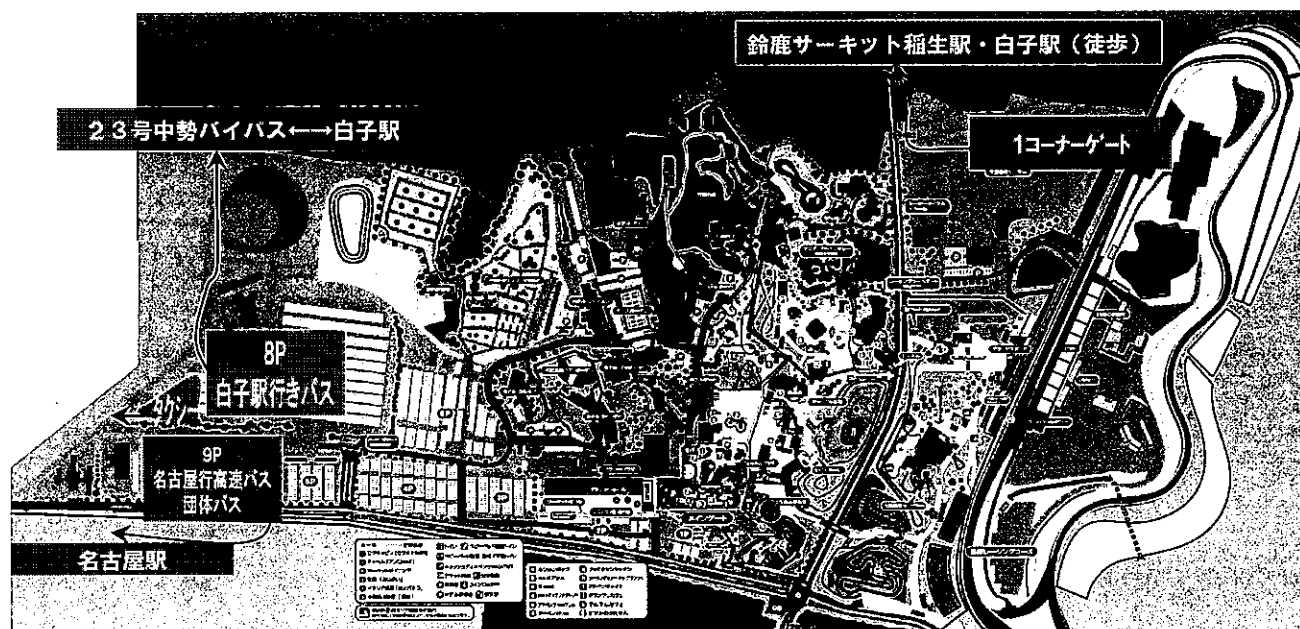
2014.8.1
鈴鹿サーキット



鈴鹿サーキット直営駐車場は予約を中心に4,500台を予定



昨年同様、各公共交通機関に対応したゲートを用意します。



※タクシーの臨時のりばは 日曜15時～(それ以外は通常乗降場所)

各種ツールを使用し、お客様への情報提供を行います。

鈴鹿サーキットホームページ（駐車場情報ページ：ケータイ・スマホ可） 対象：車両でご来園のお客様
レース事前情報、リアルタイム駐車場情報、テキスト情報を発信。駐車場情報はHondaインターナビと連動。
suzuka21.com(鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会様)HPとのリンク・連動。

Twitter (@s_trf) … 対象：車両・公共交通機関それぞれでご来園のお客様
2010年より開始。2011年よりは協議会様主導で顧客へのリアルタイム情報を提供。
スマートフォンの普及により、より重要なツールに。

FM(SuzukaVoiceFM様) … 対象：車両・公共交通機関それぞれでご来園のお客様
スマートフォン・携帯を利用できないお客様 および 車両移動中等でネット利用のできない顧客への
情報提供を目的に Twitter情報を声に置き換えて放送していただいております。

アクセス・帰路マップ … 対象：車両・公共交通機関それぞれでご来園のお客様
2010年より地元コミュニティ誌のSuzukaVoiceMagazine様と提携発行。
地元情報・クーポン・市長メッセージと共にアクセス・帰路マップを掲載。

ウェルカムページ（鈴鹿サーキットモバイルHP内） … 対象：ご来園中のお客様
鈴鹿サーキット場内に滞在中の顧客が必要な情報をまとめたページ。
テキストにて駐車場出口の混雑情報などを掲載。

鈴鹿F1日本グランプリ開催時における救急救護体制について

1 消防職員派遣の基本

- (1) F1開催期間中であっても、消防の本来業務に支障が出ないこと。
- (2) 消防職員の協力は、平成26年10月4日（土）10月5日（日）の2日間とする。

2 派遣人員

- (1) 10月4日（土）35人
消防指揮者1人、救急隊2隊6人（7:00～19:00）3交代
救護所 7人（8:00～17:00）2交代
- (2) 10月5日（日）35人
消防指揮者1人、救急隊2隊6人（7:00～19:00）3交代
救護所7人（7:00～18:00）2交代
- (3) 10月5日（日）4人
化学車隊1隊4人（14:00～17:00）

3 鈴鹿サーキットレーシングコース救護体制

- (1) 救護本部（交通教育センター内）
消防指揮者1人
高規格救急車1台配備（もてぎサーキットから）・・・運行は消防の救急隊員3人
- (2) 南コース入口テクニカルセンター
高規格救急車1台配備（もてぎサーキットから）・・・運行は消防の救急隊員3人
- (3) コース内救護所7箇所（各1人）
消防救急隊員7人
- (4) 化学車隊
正面レーシングコース内ピットロード付近にて、火災対応として1車両4人配備。

4 傷病者発生時における対応

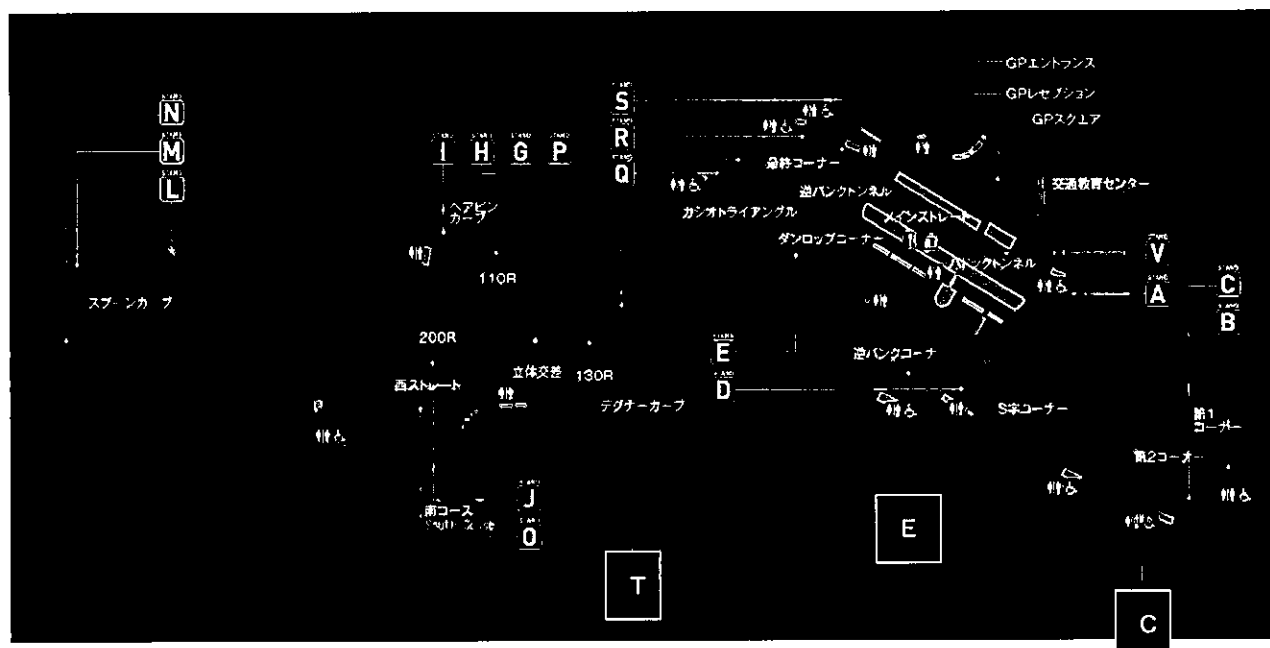
- (1) 救護本部の指揮により救護所にて簡易処置または救護本部への搬送を行い医師の診察を受ける。
- (2) 救護本部の医師の判断により救急車で医療機関へ搬送する。

鈴鹿サーキットレーシングコース救護体制

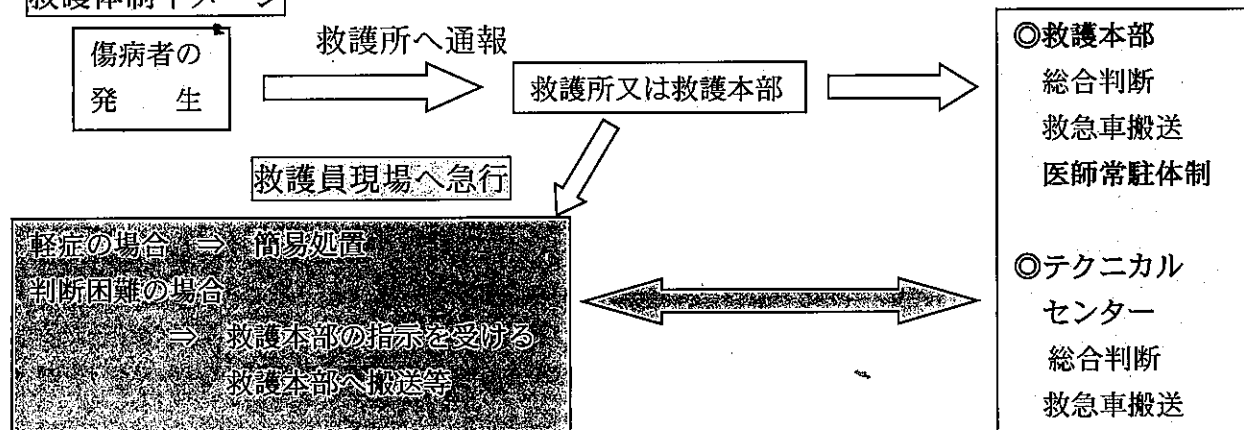
消防職員配置員数及び場所

	STEC救護所	A スタンド	C スタンド	テクニカル センター	ヘアピン	スプーンカーブ	逆バンク	130R	最終コーナー
救急車配置	高規格救急車	-----	-----	高規格救急車	-----	-----	-----	-----	-----
員数	4	1	1	3	1	1	1	1	1
位置	交通教育センター	A	C	T	I	M	E	G	R

参考図



救護体制イメージ



※その他の救護所には、サーキット担当者・看護師・看護学生等で構成した救護員が待機。

【参考】

F 1 開催期間における各医療機関の救急体制について

- (1) 一次救急医療体制は、鈴鹿市応急診療所・塩川病院・村瀬病院・高木病院
- (2) 二次救急医療体制は、鈴鹿中央総合病院（4日）、鈴鹿回生病院（5日）

鈴鹿 F 1 交通円滑化 2014 年度実施計画（案）

平成 26 年 8 月 1 日

鈴鹿市

1

《目 次》

1. 2014 年円滑化の目標
2. 目標達成に向けた取り組み（交通円滑化施策メニュー）
3. 参考 2013 年の交通円滑化施策の評価

1. 2014年円滑化の目標

3

1. 2014年円滑化の目標

- ◆これまでの目標を引き続き目標として掲げる
- ◆目標の達成度やデータ精度面、コスト面を踏まえ施策内容等を更新

目 標

全 体

鈴鹿周辺の渋滞解消時間の低減

F1 来場者数 最大15万人を想定

(1)鈴鹿周辺の渋滞解消時間 →鈴鹿市内の速度低下5時間程度

★民間プローブデータによる評価

公共交通

公共交通機関利用を引き続き促進

(2)公共交通機関分担 → 31%以上

自動車

ボトルネック交差点等への交通集中の分散

(3)鈴鹿IC利用割合（決勝日）

→ 20%以下

→ 利用時間ピークのカット(50 %)※

※鈴鹿IC決勝レース終了後5時間内に流入交通の5割が通過する時間割合(2010年130分:43%、2009年80分:27%) なお本年度は鈴鹿IC出入り交通量で評価

2. 目標達成に向けた取り組み (交通円滑化施策メニュー)

5

2. 鈴鹿地区円滑化の主な施策と2014年の取組予定

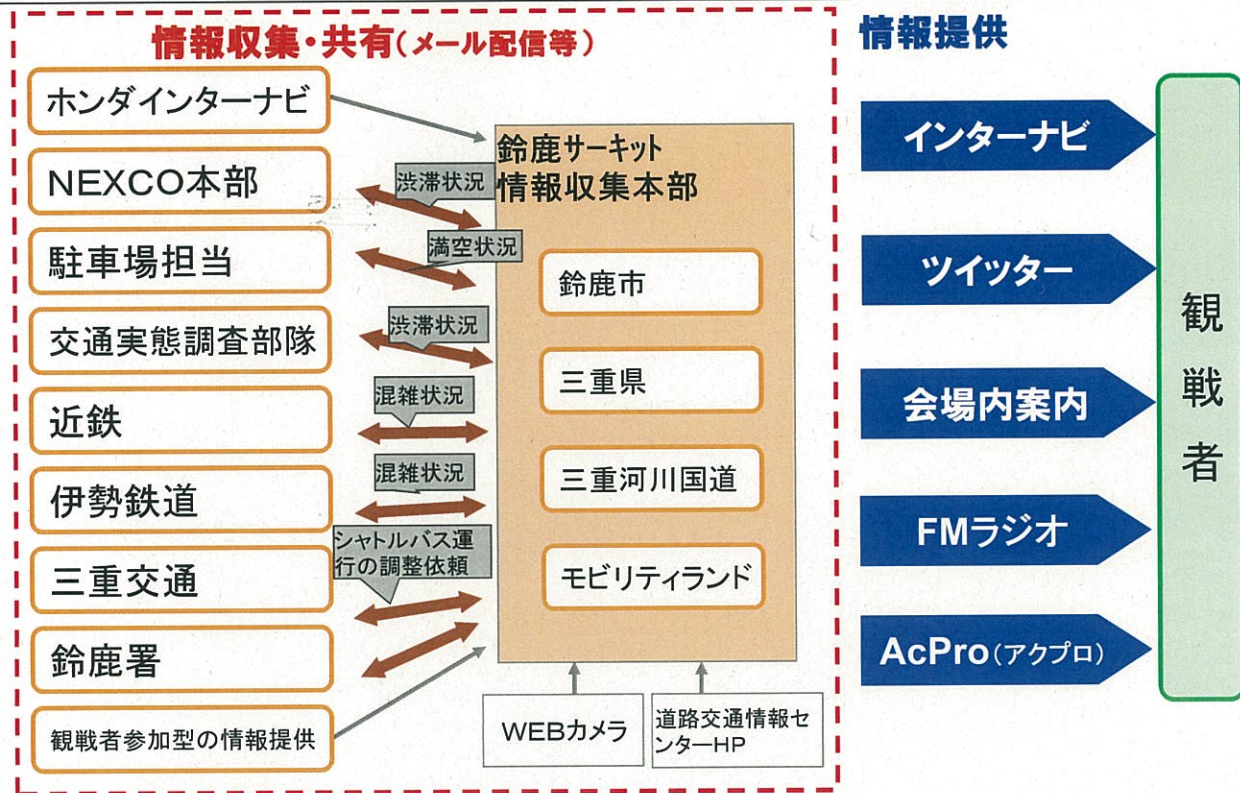
	施 策	実施主体	2009	2010	2011	2012	2013	2014
公共交通機関	① 公共交通の定時運行、臨時便等増便(鉄道、バス)	近鉄 JR、伊勢鉄	○	○ 増便	○ 増便	○	○	○
	② 白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定	国土交通省、鈴鹿 警察署、三重交通、 鈴鹿サーキット、鈴 鹿市	○ 2日間	○ 2日間	○ 3日間	○	○	○
	③ 名古屋行き高速バスの運行	三重交通	○大阪も	○大阪も	○大阪も	○名古屋のみ	○名古屋のみ	○名古屋のみ
	④ 近郊都市駅前パーク&バスライドの実施	鈴鹿市	○	○	○	○	○	○
自動車交通	⑤ 駐車場事前予約の実施	鈴鹿サーキット	○	○	○	○	○	○
	⑥ 高速・国道 情報板・路側ラジオ	国土交通 省、NEXCO中日本	○	○	○	○	○	○
	⑦ コンビニ等での推奨ルートチラシ配布	鈴鹿サーキット、鈴 鹿市	○	○	○	○	○	○
	⑧ FMラジオによる駐車場案内・渋滞情報提供	FM鈴鹿、FM三重	○	○ 時間拡大	○ 同左	○	○	○
	⑨ 道路交通規制・誘導員による案内	鈴鹿警察署、鈴鹿 サーキット、三重交 通、伊勢鉄道、鈴 鹿市	○	○	○	○	○	○
共通	⑩ 協議会HPの設置(WEBアンケート、WEBカメラ設置含む)	国土交通省、鈴鹿 市	○	○	○	○ 鈴鹿市	○ 鈴鹿市	○ 鈴鹿市
	⑪ 会場内ブースでの帰宅時の交通情報・渋滞情報の提供	国土交通省	—	○	○	○ 鈴鹿サーキ ット	○	○
	⑫ ツイッターによる周辺情報の提供	国土交通省、鈴鹿 市	—	—	○	○	○	○
	⑬ ホンダイインターナビ交通情報の提供	鈴鹿市・本田技研工 業	—	—	—	—	○	○
	⑭ AcPro(アクプロ)スマートフォンを活用した情報提供	国土交通省	—	—	—	—	○	○
その他	⑮ 観戦席完全予約制(来場に対する時間的余裕)	鈴鹿サーキット	○	○	○	○	○	○
	⑯ レース事後イベント実施(帰宅時間の集中抑制)	※おもてなし部会	○	○	○	○	○	○

<実施予定の施策トピックス>リアルタイム情報収集・提供システムの概要

◆サーキット内に本部機能を構築(モビリティランド、県、市、関係機関が常駐)

→ツイッターにおいてリアルタイムに観戦者へ情報を提供

→ホンダイターナビ情報やスマホ対応のAcPro(アクプロ)も期間限定で提供



7

<実施予定の施策トピックス>各種渋滞情報や公共交通情報ツールの実施

◆F1協議会ページにて周辺の道路渋滞情報(インターナビ情報)を提供

■鈴鹿F1日本グランプリ

地域活性化協議会HP: TOPページ(イメージ)

SUZUKA21 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会

期間限定
鈴鹿サーキット周辺の渋滞状況

現在の鈴鹿サーキット周辺の渋滞状況を示しています。右のインデックスエリアから知りたいエリアを選択してください。
この情報は本田技研工業株式会社の協力で提供しています。

詳細図

Power by Honda internavi 2013年10月12日 15:30時点

矢印の色で走行速度を表示

Power by Honda internavi 2013年10月12日 15:30時点

■ホンダ インターナビ
インターナビサービス契約者の車両データやVICSデータを活用し、リアルタイム(5分単位)で区間上の走行速度を表示するシステム。
契約者向けのサービスだが本田技研工業(株)の協力により期間限定で一般に公開。

とっておき! 観光物産情報
三重県及び鈴鹿市(鈴鹿市・津市・四日市市・桑名市・亀山市・美濃町)の観光物産情報をお届けいたします。
▶ 鈴鹿市を見る ▶ 津市を見る

20

8

<実施予定の施策トピックス> 各種渋滞情報や公共交通情報ツールの実施

- ◆ホンダイインターナビによる鈴鹿周辺の渋滞情報の提供
- ◆AcPro(アクプロ)による観戦者を対象とした、帰宅ルートの渋滞情報の提供
- ◆ツイッターによる公共交通を含めた交通情報の提供

【鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会HP】



上段:各HPのアクセス数

下段:協議会HPからのリンク数

1.8万アクセス
578

計測なし※
830

2,714フォロワー
358



リアルタイム道路渋滞情報(ホンダイインターナビ)



※システム的な理由により、アクセス数はカウントせず

【ツイッター】



3. 参考 2013年の交通円滑化施策の評価

3-1. 交通円滑化の目標の達成度

- ◆ 鈴鹿周辺の渋滞解消時間は、5時間程度と目標を達成
- ◆ 公共交通機関分担は、概ね3割を維持し、目標を達成
- ◆ 鈴鹿ICへの交通集中分散は、過年度と同レベルを維持

項目	目標	2006 (参考)	達成状況				
			2009	2010	2011	2012	2013
鈴鹿周辺の 渋滞解消時間(決勝日)	市内主要路線 5時間程度	—	7時間 程度	5時間 程度 達成	5時間 程度 達成	5時間 程度 達成	5時間 程度 達成
公共交通機関利用の向上 公共交通機関分担	31% 以上 3日間	25%	29%	31%	29%	28%	31% 達成
ボトルネック交差点等への 交通集中の分散 鈴鹿IC利用割合 (決勝日)	鈴鹿IC 利用 20% 以下	—	24%	25%	27%	27%	29%
	帰宅時 ※	—	24%	25%	27%	27%	29%
	終日	21%	22%	22%	22%	23%	25%
	IC利用時間の分散 (均等利用) 50%	—	27%	43%	43%	47%	45%

※レース終了後8時間

11

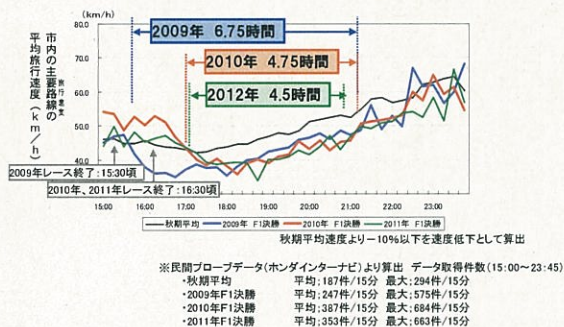
(1) 鈴鹿周辺の渋滞解消時間

- 鈴鹿市内の主要路線の速度低下を分析(通常日曜日と決勝日を比較)
- 通常日曜日の平均速度より低下した時間は約5時間と目標を達成

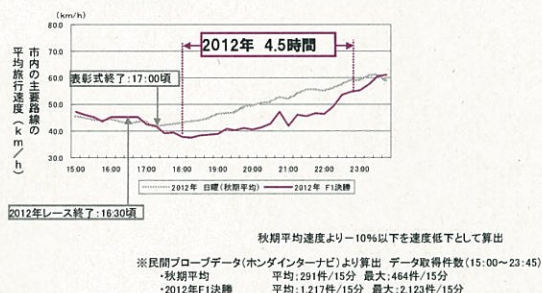
【市内全体の速度低下時間の評価】

鈴鹿市内全道路を対象に、F1開催日と秋期(9~11月)日曜の平均速度を比較、速度低下発生(渋滞)時間帯を算出し評価

<2009年、2010年、2011年開催時>

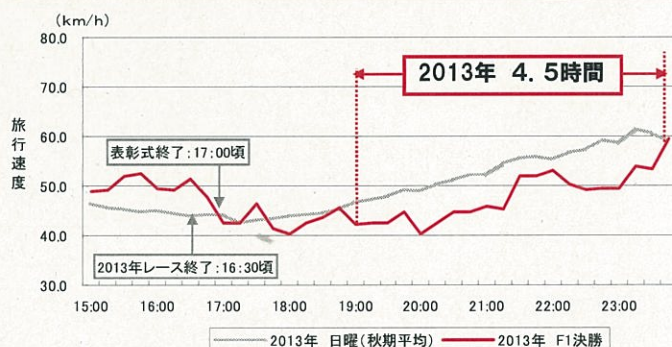


<2012年開催時>



	2009	2010	2011	2012	2013
市内の速度低下時間(時間)	約7時間	約5時間	約5時間	約5時間	約5時間

<2013年開催時>



秋期平均速度(2009年・2010年・2011年・2012年9~11月の日曜と2013年9~10月の日曜平均)より10%以下を速度低下として算出

【鈴鹿サーキット付近(18:00頃)】



(2) 公共交通機関分担

■公共交通機関の利用率を分析(鉄道駅利用者数／観戦者数)

→昨年同様の3割を維持

【公共交通機関分担割合】

(人)3日間

		2006年	2011年	2012年	2013年
来場者数			199,000	208,000	171,000
鉄道	近鉄 白子駅		(33,309)	(34,431)	(31,487)
	近鉄 平田町駅		(3,631)	(3,809)	(4,635)
	伊勢鉄 サーキット稲生駅		(19,038)	(19,588)	(15,999)
	鉄道計	25%	29%	28%	31%
高速バス(名古屋)			55,978	57,828	52,121
			912	1,040	694

出典 関係機関データ

※「行き」の利用者数で算出

13

(3) 鈴鹿IC利用割合

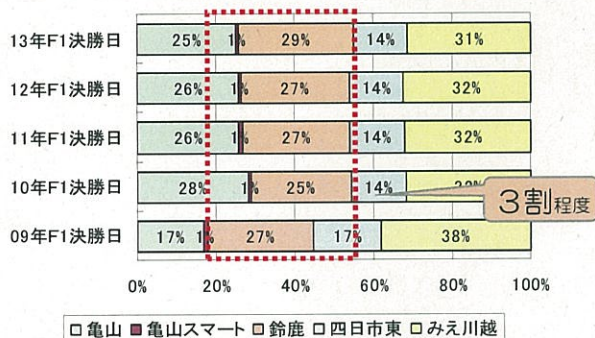
■決勝日夕方(8時間)の周辺高速インターチェンジ(IC)の利用台数の割合を比較

→鈴鹿ICの利用は約3割と、これまでの割合を概ね維持

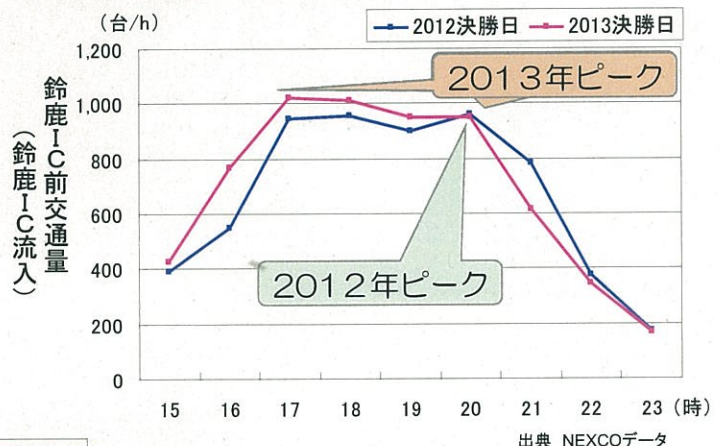
■鈴鹿ICの時間帯別の利用台数推移を昨年と比較(時間分散を分析)

→鈴鹿ICのピーク時間は昨年と同傾向で分散化の傾向

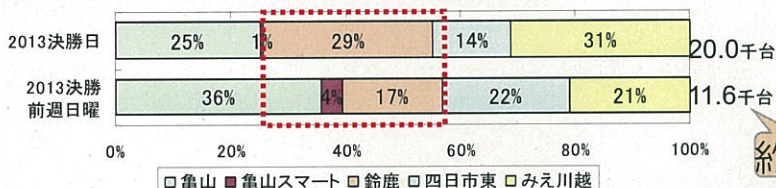
【鈴鹿市周辺主要高速ICの利用交通量割合】



【時間帯別の鈴鹿IC利用(入り交通量)】



【主要高速ICの通常日曜と決勝日の交通量割合】



※2013決勝日は、亀山JCT付近(上り)で14:52に事故発生(17:00頃事故処理終了)